

# 2021年3月期 第2四半期 決算説明資料

---

2020年11月5日

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

## 連結損益概要

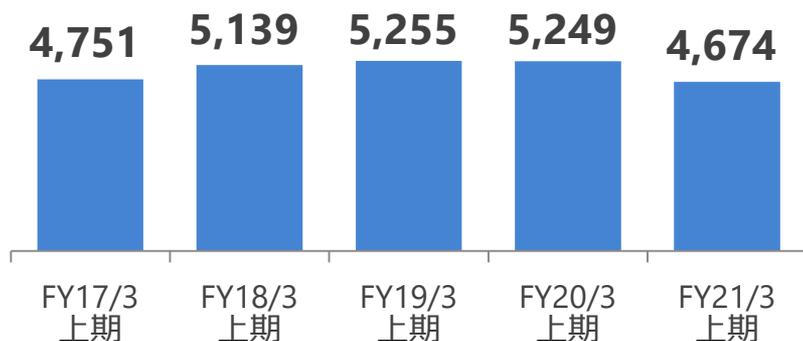
(単位：億円)

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年同期比		新型コロナ 影響
			増減額	増減率	
売上高	5,249	4,674	▲575	▲10.9%	▲400
営業利益	152	40	▲112	▲73.9%	▲117
(取得関連費用除く)		98	▲54	▲35.5%	
経常利益	154	▲21	▲175	—	
当期純利益*	96	▲80	▲176	—	

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

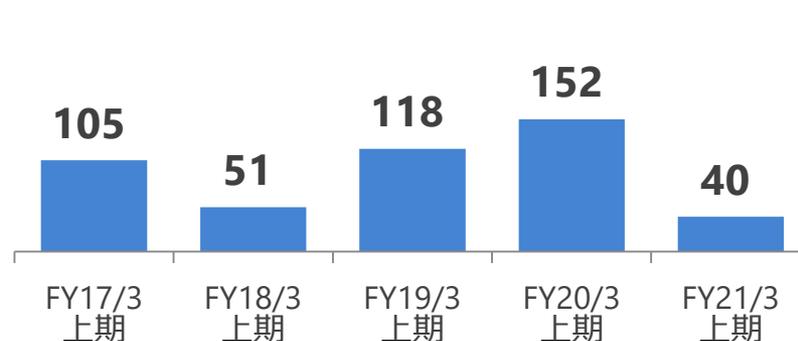
### ■ 売上高

(単位：億円)



### ■ 営業利益

(単位：億円)



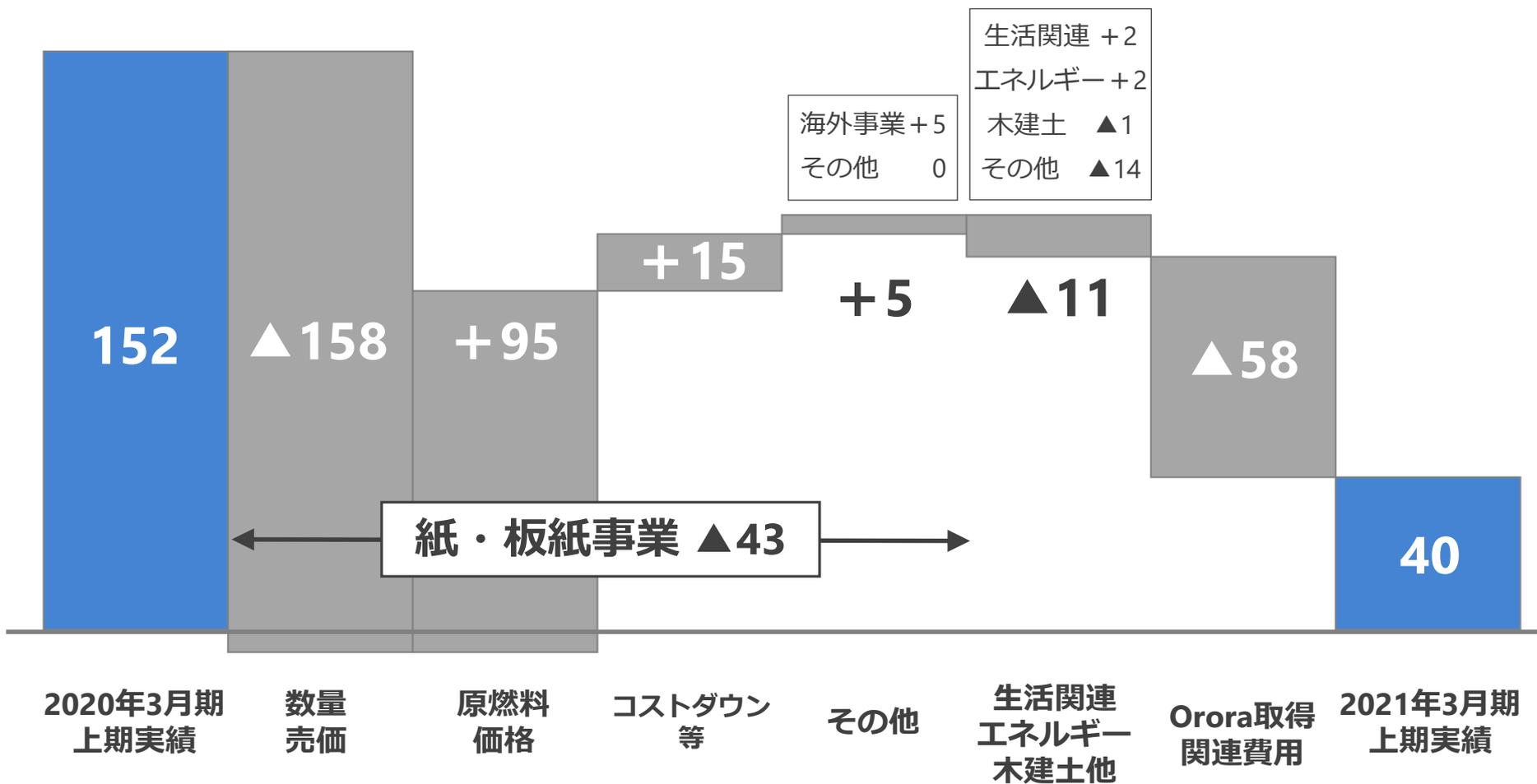
## セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年 同期比	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年 同期比
紙・板紙	3,285	2,725	▲560	23	▲20	▲43
生活関連	1,367	1,405	38	58	60	2
エネルギー	163	164	1	32	34	2
木材・建材・ 土木建設関連	285	255	▲30	25	24	▲1
その他	149	125	▲24	14	0	▲14
取得関連費用	—	—	—	—	▲58	▲58
合計	5,249	4,674	▲575	152	40	▲112

## 営業利益増減要因

(単位：億円)



## 2021年3月期 上期 増減益要因内訳

(単位：億円)

紙・板紙事業	数量・売価	▲158	-
	原燃料価格	95	チップ 12、古紙 26、パルプ 5、重油 14、石炭 27、その他 11 (価格影響 89、為替影響 6)
	コストダウン等	15	原価改善 ▲22、修繕・操業用品 5、生産体制再編成 34、 労務費 1、物流費 ▲3
	その他	5	海外事業 5、減価償却 4、退職給付費用▲7、その他 3
生活関連事業	2	家庭紙・ヘルスケア 12、NDP 20、オパール ▲27 ほか	
その他事業	▲13	エネルギー 2、木建土 ▲1、その他 ▲14	
取得関連費用	▲58	-	
営業利益	▲112	FY20/3 上期 152 → FY21/3 上期 40	
営業外損益	▲63	金融収支 ▲2、持分法投資損益 0、為替差損▲39、その他 ▲22	
経常利益	▲175	FY20/3 上期 154 → FY21/3 上期 ▲21	

## 紙・板紙事業

(単位：億円)

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年同期比	新型コロナ 影響
売上高	3,285	2,725	▲560	▲300
営業利益	23	▲20	▲43	▲90

### ● 国内事業（洋紙）

- ・国内販売数量は、新聞のページ数減少や印刷用紙の広告需要低迷などにより大幅減少。
- ・減産対応の影響で、上期の操業率は80%<sup>(\*)</sup>に留まり、原価改善の効果発現が想定を大幅に下回る。

### ● 国内事業（板紙）

- ・加工食品・通販向けなどの需要は堅調に推移したものの、インバウンド消費・工業製品向けなどの需要が低迷し、国内販売数量は減少。

### ● 海外事業

- ・十條サーマル・SNPとも、新型コロナ影響で販売は減少するも収益堅調。

(\*) 操業可能日数に対する操業率

## 洋紙・板紙販売数量

(単位：千t)

	2020年3月期 上期	2021年3月期 上期	前年同期比
新聞用紙	415	345	▲16.9%
印刷用紙	740	545	▲26.3%
情報用紙	252	209	▲16.9%
その他	180	146	▲18.8%
国内	1,587	1,245	▲21.5%
輸出	161	112	▲30.7%
洋紙合計	1,748	1,357	▲22.3%
段ボール原紙	821	801	▲2.5%
紙器用板紙他	173	147	▲15.0%
国内	994	947	▲4.7%
輸出	84	87	3.0%
板紙合計	1,078	1,034	▲4.1%
洋紙・板紙合計	2,825	2,391	▲15.4%

\* 日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシア、新東海製紙の販売数量合計（衛生用紙除く）

## 生活関連事業

(単位：億円)

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年同期比	新型コロナ 影響
売上高	1,367	1,405	38	▲50
営業利益	58	60	2	▲15

### ● Opal

- ・旧APは、新型コロナの影響によりコピー用紙の需要が大きく減少。また、輸出市況の低迷が続き、大幅な減益となった。
- ・旧Ororaは、新型コロナの影響で青果物・食肉用途の段ボールの需要が減少。

### ● 日本ダイナウェーブパッケージング (NDP)

- ・今年度は休転を下期に行うため、営業利益は対前年で増益。

### ● 国内紙パック

- ・新充填機設置による拡販、家庭用の牛乳向け容器などの需要堅調により増収増益。

### ● 家庭紙・ヘルスケア

- ・ティシューペーパー・トイレットロールは、前年度末の需要増加の反動などにより、販売数量が減少するも、感染予防のためのハンドタオルなどの販売が堅調。

### ● ケミカル

- ・機能性フィルムは、在宅勤務用のモバイル用途端末などが堅調で販売数量増加
- ・溶解パルプ (DP) は、中国などの海外需要が低迷し、販売数量減少

## エネルギー事業

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	163	164	1
営業利益	32	34	2

(単位：億円)

新型コロナ 影響	0
	0

- ・ 堅調に推移し、増収増益。

## 木材・建材・土木建設関連事業

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	285	255	▲30
営業利益	25	24	▲1

(単位：億円)

新型コロナ 影響	▲20
	▲2

- ・ 新型コロナの影響などで、製材品などの販売数量が減少。

## その他事業

	2020年3月期 上期実績	2021年3月期 上期実績	前年同期比
売上高	149	125	▲24
営業利益	14	0	▲14

(単位：億円)

新型コロナ 影響	▲30
	▲10

- ・ 物流・レジヤ事業は、新型コロナの影響で売上減少。

## 連結貸借対照表

(単位：億円)

	2020年3月末	2020年9月末	前期末増減
資産の部合計	13,635	15,640	2,005
現預金	528	1,150	622
棚卸資産	1,718	1,944	226
その他流動資産	2,722	2,741	19
有形・無形固定資産	6,895	7,963	1,068
投資その他の資産	1,771	1,840	69
負債の部合計	9,769	11,856	2,087
有利子負債	6,899	8,997	2,098
その他負債	2,870	2,859	▲ 11
純資産の部合計	3,866	3,783	▲ 83
うち株主資本	3,643	3,520	▲ 123
負債および純資産合計	13,635	15,640	2,005
純有利子負債	6,371	7,847	1,476
調整後ネットD/Eレシオ *	1.75	1.98	0.23

\* 調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

資本性負債：ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）

## 連結損益概要

(単位：億円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前年同期比		新型コロナ 影響
			増減額	増減率	
売上高	10,439	10,000	▲439	▲4.2%	▲690
営業利益	350	200	▲150	▲42.9%	▲220
(取得関連費用除く)		258	▲92	▲26.4%	
経常利益	305	120	▲185	▲60.7%	
当期純利益*	142	30	▲112	▲78.9%	

\* 親会社株主に帰属する当期純利益

## セグメント別概要

(単位：億円)

	売上高			営業利益		
	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前年 同期比	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	前年 同期比
紙・板紙	6,467	5,600	▲867	61	35	▲26
生活関連	2,702	3,250	548	129	90	▲39
エネルギー	330	330	0	68	70	2
木材・建材・ 土木建設関連	616	520	▲96	59	50	▲9
その他	324	300	▲24	33	13	▲20
取得関連費用	—	—	—	—	▲58	▲58
合計	10,439	10,000	▲439	350	200	▲150

## 主要な前提条件

- 国内販売数量（対前年）：8月公表の前提から概ね変更なし

	上期実績	下期見込	通期見込
新聞用紙	▲17%	▲10%	▲13%
印刷用紙	▲26%	▲12%	▲19%
情報用紙	▲17%	▲7%	▲12%
段原紙	▲2%	▲5%	▲4%

- 主要原材料価格、為替：概ね足元の水準が継続すると見込む

為替（米ドル） 107円／ドル

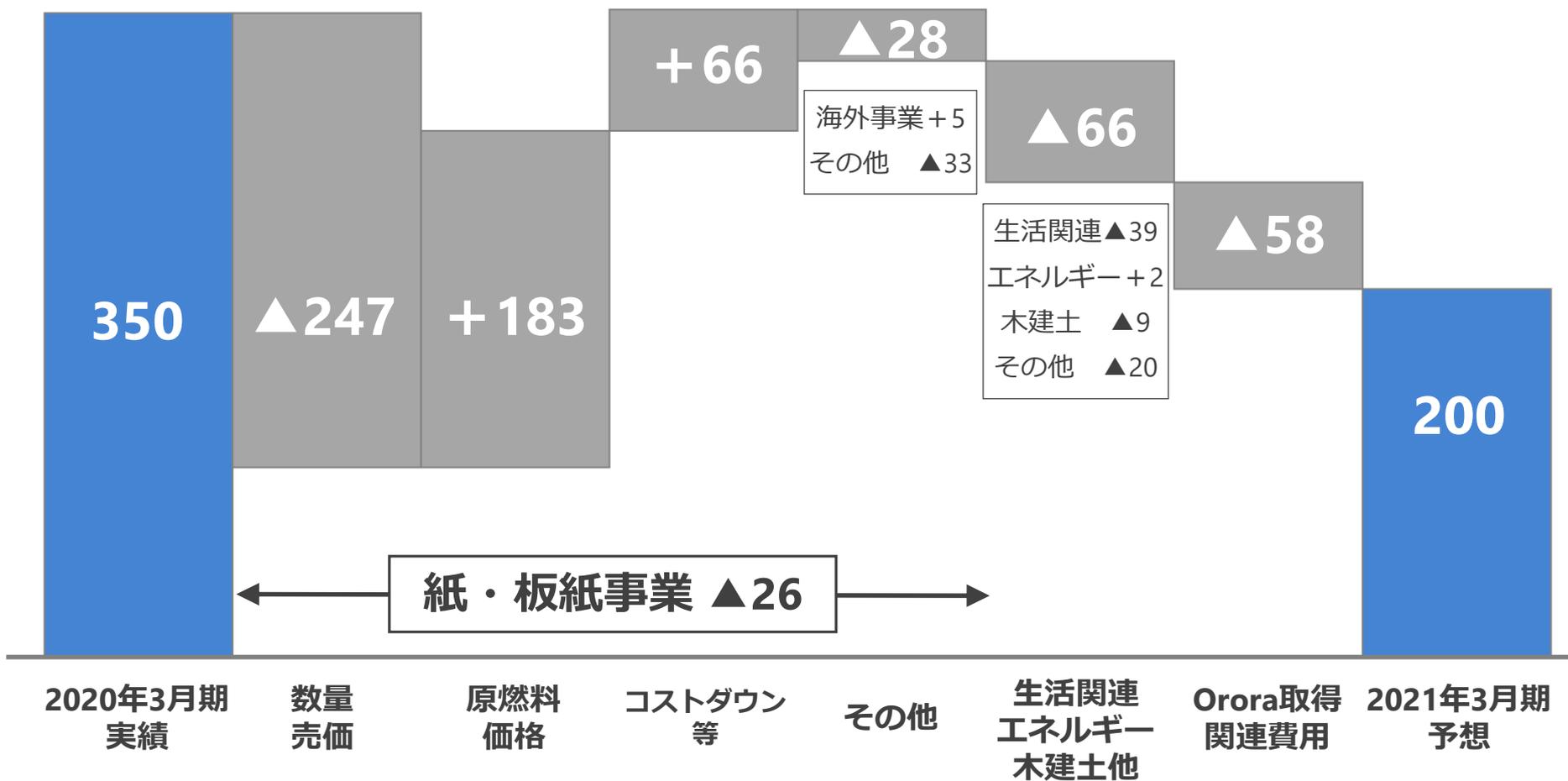
為替感応度 米ドル1円円高で+4億円/年

石炭 69ドル／t（豪州炭ベンチマーク価格）

原油 45ドル／バレル（ドバイ）

## 営業利益増減要因

(単位：億円)



## 2021年3月期予想 増減益要因内訳

(単位：億円)

紙・板紙事業	数量・売価	▲247	-
	原燃料価格	183	チップ 41、古紙 29、パルプ 8、重油 25、石炭 59、LNG 10、薬品ほか 11 (価格影響 170、為替影響 13)
	コストダウン等	66	原価改善 7、修繕・操業用品 14、生産体制再編成 45、労務費 1、物流費 ▲1
	その他	▲28	海外事業 5、減価償却 7、退職給付費用 ▲13、受払影響ほか ▲27
生活関連事業	▲39	家庭紙・ヘルスケア 4、オパール ▲30 ほか	
その他事業	▲27	エネルギー 2、木建土ほか ▲29	
取得関連費用	▲58	-	
営業利益	▲150	FY20/3 350 → FY21/3 200	
営業外損益	▲35	金融収支 ▲12、持分法投資損益 ▲4、その他 ▲19	
経常利益	▲185	FY20/3 305 → FY21/3 120	

# 参考資料

---

日本製紙株式会社



木とともに未来を拓く

## 主要指標

	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年3月期	
					上期実績	通期予想
売上高営業利益率	2.4%	1.7%	1.8%	3.4%	0.8%	2.0%
売上高経常利益率	2.7%	1.8%	2.2%	2.9%	-0.5%	1.2%
設備投資額（億円）	513	728	603	706	304	631
減価償却費（億円）	551	579	604	587	297	622
EBITDA（億円）※1	893	837	861	977	—	875
純有利子負債（億円）	5,880	6,346	6,252	6,371	7,847	7,600
調整後ネットD/Eレシオ ※2	1.49	1.61	1.76	1.75	1.98	1.8倍台
正規従業員数（人）	13,057	12,881	12,943	12,592	15,917	15,907
一株当たり純利益(円)	72.57	67.80	-304.34	122.89	-69.68	25.97
一株当たり配当金(円)	60	60	30	40	10	40
総資産利益率（ROA）※3	2.6%	1.9%	2.2%	2.7%	—	1.2%

※1： EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + 受取配当金 + 受取利息 + のれん償却

※2： 調整後ネットD/Eレシオ = (純有利子負債 - 資本性負債) / (株主資本 + 資本性負債)

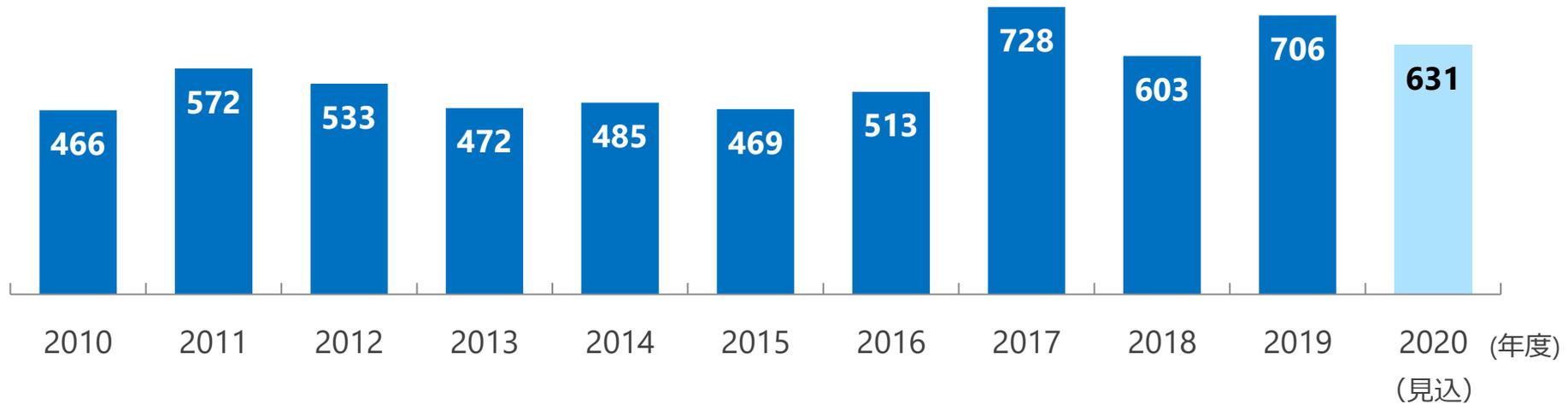
資本性負債：ハイブリッドローンで調達した負債のうち、格付機関から資本性の認定を受けた額（調達額の50%）

※3： ROA = (経常利益 + 支払利息) / 総資産 \* 2021年3月期の通期見通しは、2020年9月末の総資産をもとに算出

# 設備投資額・減価償却費

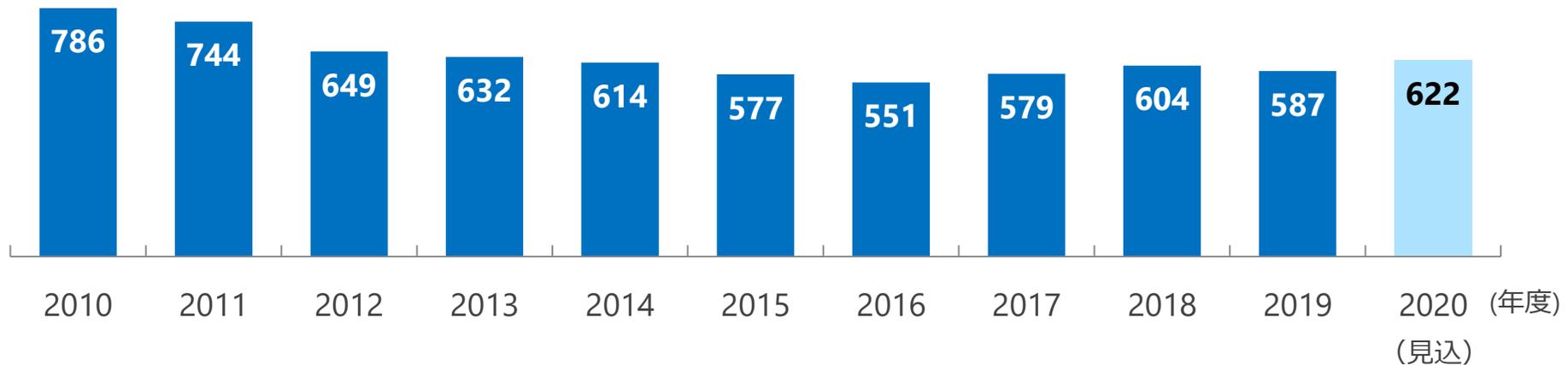
## 設備投資額

(単位：億円)



## 減価償却費

(単位：億円)



## 主なトピック（2020年8月～10月）

- 8月 1. 「抗ウイルス」性能を持つ変性セルロースを開発
- 9月 2. 「SPOPS Hygiene」を開発  
3. 「抗ウイルス」性能を持つ印刷用紙を上市  
4. 「NSATOM®」完成
- 10月 5. 十條サーマル社の「シールドプラス®」量産設備が完成  
6 「シールドプラス®」をリニューアル

## 紙・板紙の出荷量と輸出入

## &lt;2021年3月期 上期 国内メーカー実績&gt;

(数量：千t)

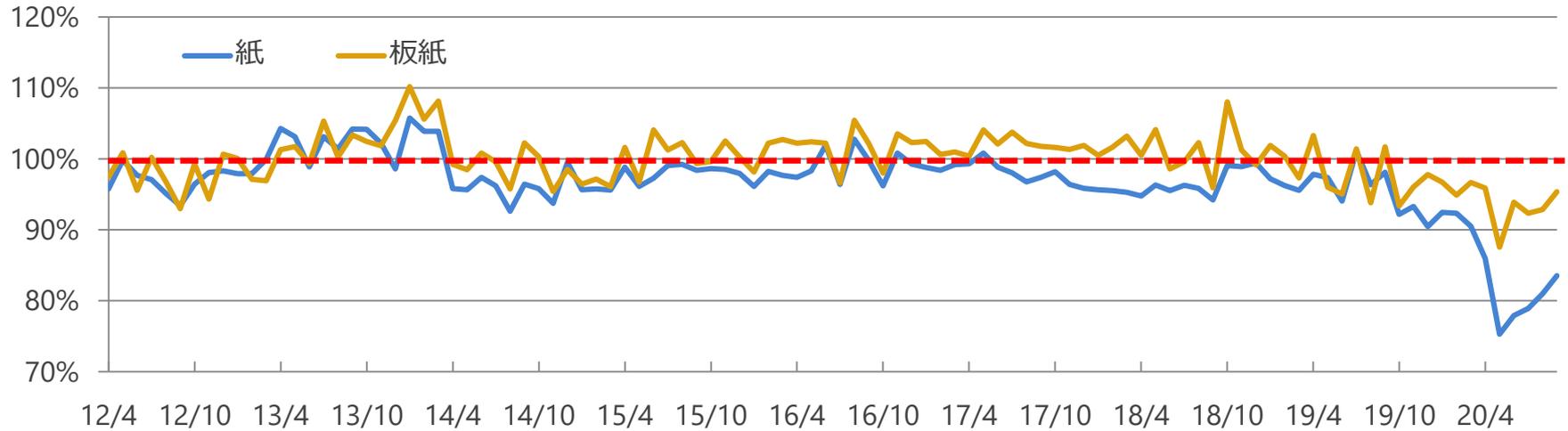
	国内出荷高(A)		輸出(B)		合計 (A+B)		輸入	
	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比	数量	前期比
新聞用紙	1,002	▲15.5%	0	—	1,002	▲15.5%	1	90.6%
印刷・情報用紙	2,531	▲25.3%	185	▲28.3%	2,715	▲25.5%	335	▲43.4%
塗工印刷用紙※	1,287	▲29.9%	136	▲27.5%	1,423	▲29.7%	102	▲68.4%
非塗工印刷用紙	703	▲20.2%	37	▲31.7%	741	▲20.8%	21	▲41.2%
情報用紙	541	▲19.3%	11	▲25.6%	552	▲19.5%	212	▲9.3%
その他	1,427	▲11.3%	133	▲15.0%	1,560	▲11.7%	22	▲18.7%
洋紙 合計	4,960	▲19.8%	318	▲23.3%	5,278	▲20.0%	358	▲42.2%
段ボール原紙	4,322	▲5.0%	419	94.1%	4,741	▲0.5%	23	5.4%
紙器用板紙他	915	▲15.3%	16	25.4%	932	▲14.8%	122	▲14.5%
板紙 合計	5,238	▲6.9%	435	90.2%	5,673	▲3.2%	145	▲11.8%
紙・板紙合計	10,198	▲13.7%	753	17.1%	10,951	▲12.1%	504	▲35.8%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む

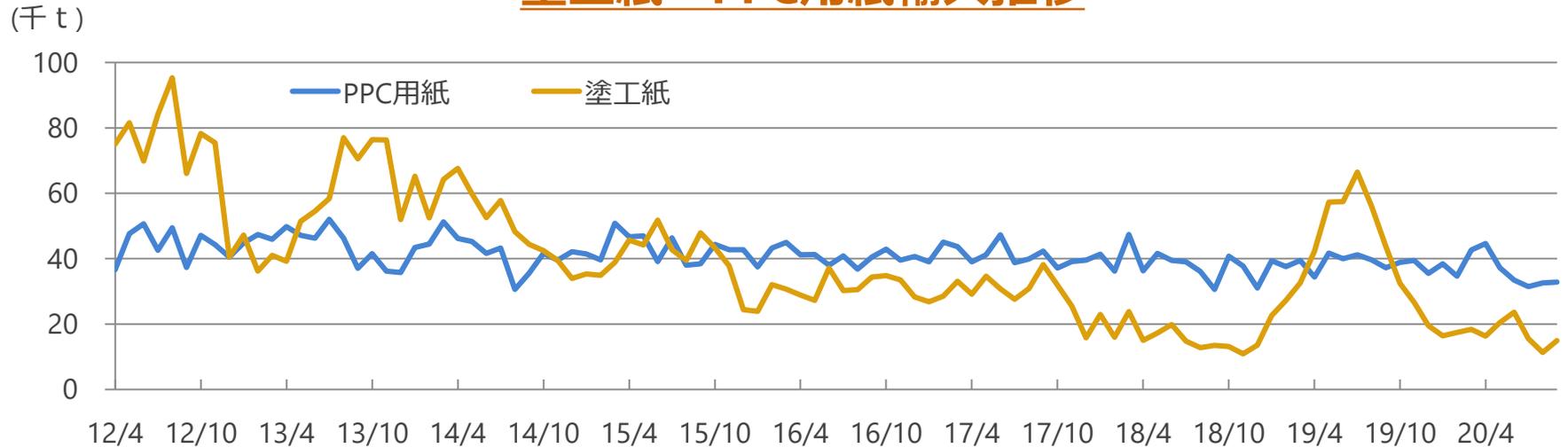
出所：日本製紙連合会、財務省貿易統計

# メーカ一国内出荷量（対前年）、塗工紙・PPC用紙輸入推移

## メーカ一国内出荷量(対前年)



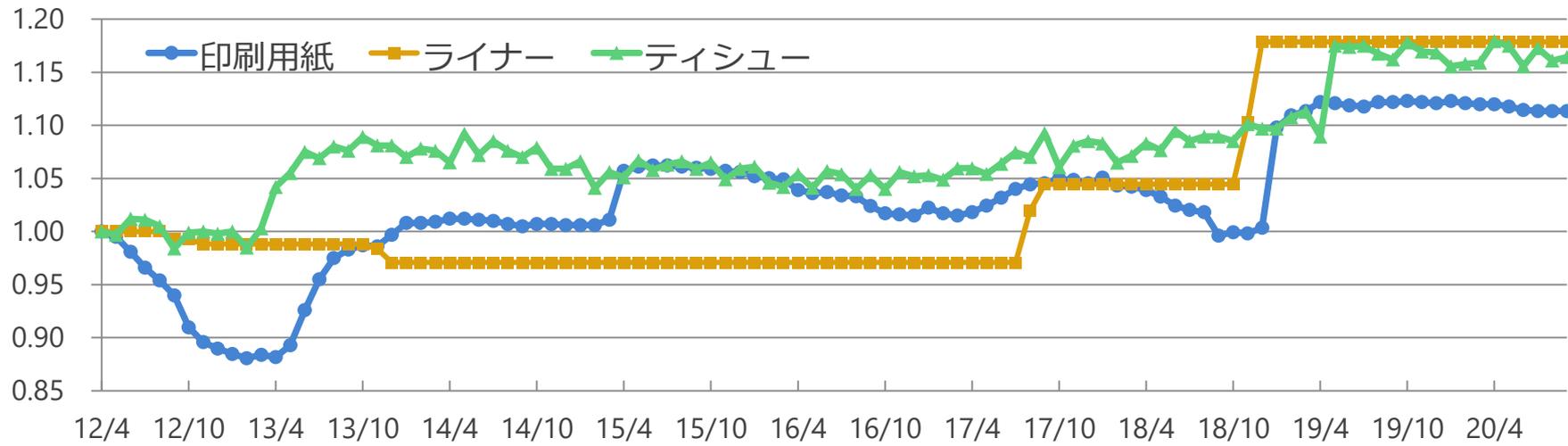
## 塗工紙・PPC用紙輸入推移



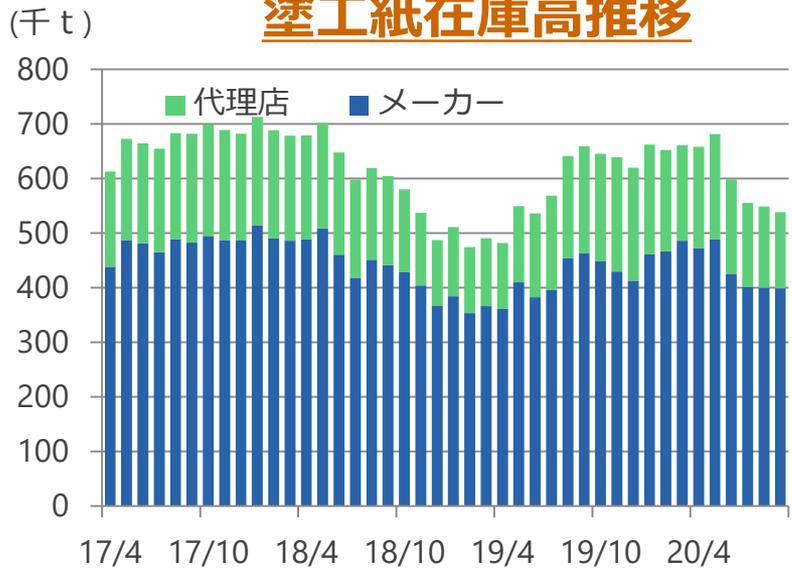
# 品種別価格動向、塗工紙・段原紙在庫高推移

## 品種別価格動向

(2012年4月 = 1)



## 塗工紙在庫高推移



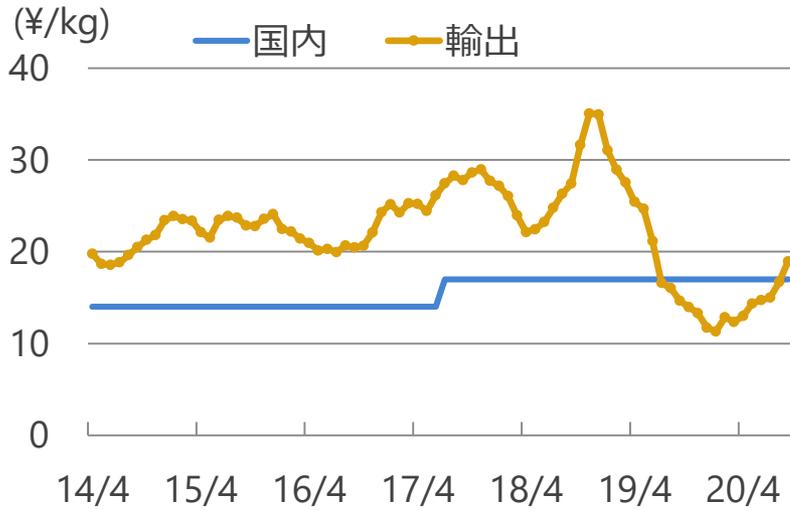
## 段原紙在庫高推移



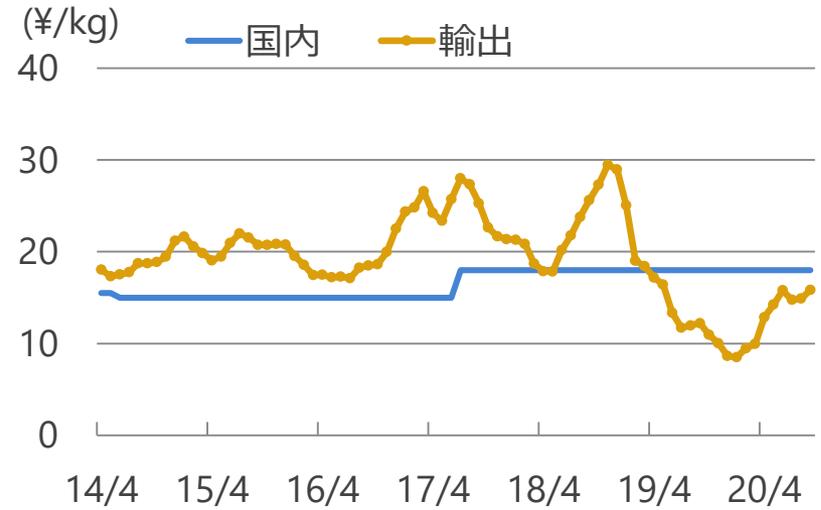
出所：日本製紙連合会、日本銀行「国内企業物価指数」

# 主要原燃料価格動向

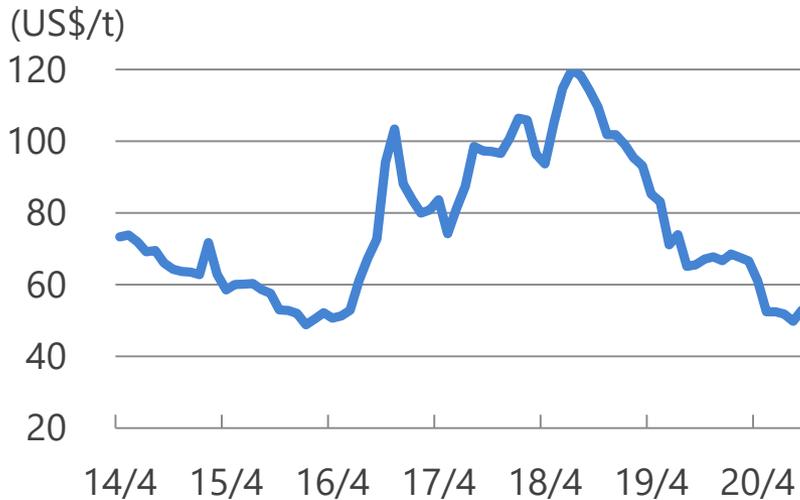
## 新聞古紙



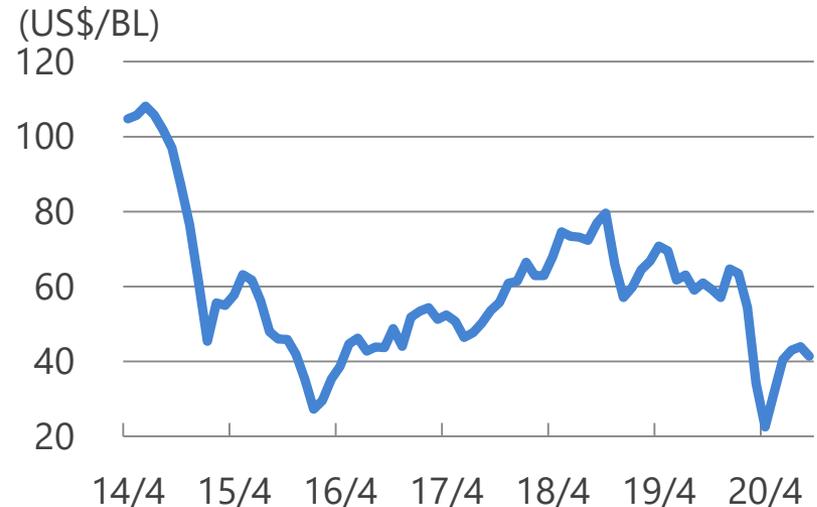
## 段ボール古紙



## 石炭



## 原油



出所：古紙再生促進センター、財務省貿易統計、日本経済新聞、Global Coal Index

# 日本製紙グループは世界の人々の 豊かな暮らしと文化の発展に貢献します

## <注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## 日本製紙株式会社